

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

K07

栄造は、カレンダーを見上げた。金曜日。間違いない。新聞も読書も今日は金曜日だと誓った。窓の下に置いた乳椅子を眺めた。左手でゴミを払った。来るだろうか。もう二度と隼人は来ないかもしれない。吸殻を入れる缶と文庫本を作業台の左隅にきっちり並べた。自分の椅子を台に近づける。これくらいいいか。①自然が感しに見せかけりやならないかな。落ち巻は。しっかりしろ。昔殺と違ふことは避けなければならない。隼人に本のことを教えてやればいいんだ。それだけだ。なにやっつんだかな、俺は。

栄造は全身を耳にして、隼人の足音を聞き漏らすまいとした。手元は木型を撫でているだけだ。

キョッ。これか？ 運動靴が床を擦る音か？ 振り向きたい。いや、まだだめだ。急に振り向くとびっくりして逃げ出すかもしれない。なんだよ。まるで獲物を待ってるみたいじゃないか。ん？ 空耳か？ もう音がしない。恐ろ恐ろ振り送った。ドアのところに立っている隼人が見えた。

「なにしてんだよ。白昼をまたけない嫌々みただな。とっとおやつ食え」

隼人の顔が遠端に明るく切り替わった。走って冷蔵庫に向かった。

隼人がシュークリームと牛乳を手には、指差すに運んだ。

栄造はくっときた。くっさ。俺はこんなことで感動するマヌケじゃないぞ。

隼人は黙ってシュークリームを食べている。

栄造は手に傷がないか調べているふりをした。

食べ終わった隼人に、栄造は文庫本を渡した。「チビガキに死を理解させるいい方法を思いついたんだ」

-6-

「なに？」

「本だよ。物語だ」

「ん？」

「チビガキは本好きか？」

「どうかさ。たまに本を開いているけど、ただページを捲ってるだけの様な気がするし」

「そっか。その本にはな、父親が出て来る。娘を心配しながら死んだんだ。で、心配して天国からやって来る。父親には娘が見えぬが、娘には父親は見えない」

「うん」

「これだと、まだチビガキがあらぬ方を見て群り言を聞くようになっちゃうから、だめだね。これじゃ子どもには難しいな。母親を亡くした子どもが出て来る本を探さんだ。それとお前が読んでやれ。物語を聞けば理解しやすくなるぞ。そうすりゃ、病院に行くことも郵便受けて待つこともしなくなる」

「本当？」

「あら」

「本当に本当？ 手紙は失敗だったよ」

「②失敗を恐れたらなにでもできいんだよ。今のまんまでもいいのか？ 嫌だったら、動くんだった」

「わかった」 頷いた。「そういう本、どうやって探すの？」

「さっさと、学校図書館じゃないのか？」

「あら」

「それで探せ」

「どうやって？」

K07

-7-

「わかんねえよ。誰がいるだろう、そこに。先生かなんかが」

「美人の先生がいる」

「いいね。美人が本に囲まれているのはいい景色だ。そいつに聞け。で、本を手に入れて、チビガキに渡せ。チビガキが読めそうもなかったら、お前が読んでやるんだ。いいな」

「そうしたらわかるかな？」

「ああ」

「明日の昼休みに先生に相談してみよう」

以前のように隼人と話せて、栄造はほっとした。もし隼人がここに来なくなったらどうしただろう。心配するんだらうか。——なんだだよ。どうせなにもできやしないのに。

④ 栄造は尋ねた。「その先生、凄く美人なのか？」
 喜な怒る。「ふん」と美人
 「ふんだよ。ちよっとなのか」
 「うん」

栄造は今度こそ大丈夫だろうと確信していた。これで彼は母親の死を受け入れられるだろう。毎日病室に行くこともなくなる。ふと、自分はどうだっただろうと思っただ。ツセの訃報はつぱうを聞き、葬式に参列した。大勢の会葬者で式場は混雑していた。廊が長いことツセの写真を眺めた。興奮する気になれなかった。死を受け入れられるまでどれくらい時間がかかっただろう。果物が好きなんだ。八百屋でスイカが並べば、今年はもう食べただろうか、ミカドを見て、送ってやるうかと考え、もうないんだっけと気がついて——三年ぐらいはかかっただろうか。なのに六歳の子どもに理解させようとしている。どだい無理な話か。

(桂 賢彦「ボーイズ・ビー」による。)

問一 この小説に登場する「栄造」とはどのような人物ですか。最も適切なものを次の中から一つ選びなさい。

- 1 子どもの気持ちを常に考えて、子どもを甘やかしてしまう人物。
- 2 口は悪いが、実は親身になって世話を焼く人物。
- 3 自分の具体的な経験を子どもに伝えて、相談に応じてあげる人物。
- 4 「チビガキ」のことが大好きで、「チビガキ」のためだけには労を惜しまない人物。

問二 栄造が、——解部④「自然な感じに見せなけりゃならないからな」と思っただのはなぜですか。最も適切なものを次の中から一つ選びなさい。

- 1 今日が隼人の来る日だとわかっていることを、隼人に悟られないようにするため。
- 2 隼人が驚いて逃げると恥ずかしいので、隠れ隠しに何でもないと見栄をはるため。
- 3 来づらくなっている隼人に、「いつもと同じだよ」というメッセージを伝えるため。
- 4 隼人が自然な感じが好きなので、それに合わせないといけないため。

問三 綾部②「失敗を恐れたらなにもできないんだよ」というセリフはだれがだれに対して、何をさせるために言った言葉ですか。最も適切なものを次の中から一つ選びなさい。

- 1 栄造が隼人に、手紙が失敗であったとわからせるため。
- 2 栄造が隼人に、本を使ってチビカキに母の死を受け入れさせさせるため。
- 3 隼人が栄造に、本を使って美人の先生と話ができるようにさせるため。
- 4 隼人が栄造に、次の作戦を考えてもらうため。

問四 部③の会話を入れることによって、着者は、二人の心情を描写する上でのどのような効果を狙っていると考えられますか。次の中から最も適切なものを一つ選び、それを選んだ理由を書きなさい。

狙っている効果

- ア 栄造と隼人の二人が、打ち解けた関係であることを示す効果
- イ 栄造が隼人に対して自然な感じを演出でき、安心していることを示す効果
- ウ 栄造が美人の先生に興味があることを示す効果